

# 議会改革で町村が連携

## 初の「議会改革シンポジウムin長野」に参加

富士見町議会は、議会改革の一環として、7月8日に松本市内で開かれた「町村議会改革シンポジウムin長野」に参加しました。シンポジウムには県内の13町村議会から議員ら約140人が出席。議会ごとに取り組み状況を報告しました。基調講演は、富士見町議会の勉強会にも以前、講師で訪れた江藤俊昭・山梨学院大学法学部教授が行いました。（川合弘人）



「町村議会改革シンポジウムin長野」に参加した富士見町議会（松本市浅間温泉文化センター）

### 【富士見町議会の取り組み】

富士見町議会は2011年度に議会改革の審議をスタート。議会改革検討実行委員会を立ち上げ、飯田市、軽井沢町、飯綱町などの先進議会を視察したほか、江藤教授を囲んだ学習会は2度開いています。「開かれた議会」を目指し、町商工会、町社会福祉協議会、民生児童委員協議会など各団体との交流会や、議会報告会、オープンミーティングも開きました。

実行委員会ではこれまで、専決処分の在り方、通年議会への移行や、議会基本条例案の制定についても審議してきましたが、結論は出ていません。今後は引き続き、町内各種団体との交流や、年1回以上の議会報告会を行う方針です。将来的には、議会基本条例の制定も視野に入れています。

各町村の報告では、政策提言の付条例の制定（松川町）、一般質問できる議会を目指すこと（阿智 前の答弁要旨配布（小布施町））村）や、議会だよりモニター制度 などの事例発表がありました。南の新設（飯綱町）、政務活動費交 箕輪村、松川町、軽井沢町、飯綱

町、上松町の議会は「議会基本条例」を既に制定したと報告。佐久穂町は9月定例会へ

の議案上程を目指しています。富士見町議会は各町村の動きを参考にしながら、さらに議会改革を進ませ、住民主体の民主主義を確立するために努めていきたいと考えています。

シンポジウムは飯綱町議会の呼び掛けで初めて開かれました。各町村が独自に議会改革を進め、成果がみられることから、連携した取り組みを行うことで、「点を面へ広げていく」ことが大きな目的です。県内で改革に取り組む議会は、全58町村のうち、18町村にとどまりますが、「議会改革の動きに弾み

### 将来的には、議会基本条例の制定も視野に

でも言及し、「事務局を充実させない限り住民自治は発展しない」と強調。事務局人事に対して、議長に任命権があることも触れました。

また、江藤教授は講演で、「議会を付ける契機として」として

議員定数・報酬の問題は「行政改革とは異なり、将来、議員になる人が出馬しやすく、活動しやすいようにすることが大事」と語りました。議会事務局の重要性についても言及し、「事務局を充実させない限り住民自治は発展しない」と強調。事務局人事に対して、議長に任命権があることも触れました。